

馬酔木は万葉集にもよく詠まれているツツジ科の植物で、早春にスズランに似た可憐な花が咲く。シカが食べないため奈良公園にも多く生育する。

あ せ び 馬酔木通信

No.32 2013



地域とともにある大学をめざして

学長 馬越 かよ子

大学の近くにお住まいの方とお話しをする機会がありました。「奈良佐保短期大学の近くに住んでいることをお友達からいいわねと言われました」「学生さんに手伝ってもらって助かりました」と。なぜ、「いいわね」と羨まれ、学生がどのようなお手伝いをしたのかは聞きそびれましたが、嬉しいことを聞かせて頂いたとお礼を申し上げました。

大学は、小学校や中学校に比べて、地元の皆様にとって身近な存在と感じられることが少ないのではないかと常々危惧しているところであります。

しかし、学術の中心として、高い教養と専門的能力を培い、深く真理を探究して新たな知見を創造する教育研究機関である大学は、その成果を広く社会に提供して、社会の発展に寄与するものとされています。

本学では、基礎力を備え、職業人としての力を発揮できる人材として社会に送り出しています。また、変化する社会の中で、自分の生き方を見直し、新たな職に挑戦したいと考える社会人に学び直しの学習機会を提供するとともに、一般に公開講座や大学の科目を開放するなどして生涯学習の拠点としての役割も担っています。

さらに、核家族化や地域における人間関係の希薄化などにより、孤立しがちな子育てを支援するため、奈良市の委託事業である「子育て支援センター」が、本学に設置されています。そこでは、本学の専門性を活かした特色ある多様な取り組みが展開され、多くの親子が楽しく過ごしています。また、このセンターは、保育士をめざす学生にとっては、活きた学びの場ともなっています。

加えて、奈良県認定の「眺望のいいレストラン」である学生レストランを一般のお客様に開放し、食事をしながら、時折開催されるイベントなども楽しんでいただいています。

このように、今後とも、求められる人材を育成し、研究を通して社会に貢献するとともに、本学の特徴専門性を活かして、暮らしの安心や地域の活性化に寄与し、近隣の皆様に「おらが大学」と親近感を抱いていただき、地域に求められ、地域とともにある短期大学として「地域の知の拠点」の役割を果たしてまいりたいと考えています。

「滋京奈地区を中心とした地域社会の発展を担う人材育成」本学の取り組み

私のキャリアデザインの授業

社会を生きていくために大切なことは、コミュニケーション能力と円滑な人間関係の構築だと考えています。その為にはまず、声を出すことから始めなくてはなりません。人に伝えることは容易ではなく、話を整理し心を込めて伝えないと人には伝わらない、また理解してもらえないということを学んで頂きました。

毎回全員参加の授業を目指し、質問に対して思ったことを発言して、自分の考えを声に出すということを中心に進めました。授業の中では、前職の経験を活かし、機内アナウンスや店員とお客様に分かれてクレーム対応やビジネスマナーなどを取り入れ、実際にパフォーマンスして、正しく「人に伝える」ということを体験して頂きました。初回の講義では、挨拶や声の出し方を確認することからはじめ、人前で堂々と自分の名前や自分のことを語る場をつくり、これから社会人になるために必要な基礎力を養うことを目指した内



T's Tips Company

(元 日本航空キャビンアテンダント) 代表 碓 ともみ

容を組み入れ展開していきました。そして、普段は公に口に出すことがない「嫌われる人」「嫌いな人」について一緒に考え、社会で嫌われる人はどの様な人なのかを知ること、自分を振り返ってみる機会を与えました。社会に出ると様々な人と関わりを持ち、様々な個性と共存しなければ円滑な人間関係の構築が出来ません。他人との距離感の取り方や、どの様に自分が感じて人も尊重する気持ちを持つことの大切さを知ることによって、円滑な人間関係を築けることを学び感じ取る授業にしました。

新たな学びと集いのスペース ～ 学生ホールリニューアル ～

文部科学省 平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」で「アクティブラーニングに繋げる双方向シアター型学習環境の創出」という取組みが採択されたのに伴い学生ホールを整備しました。学生が受身的な学びから自らが意欲を持ち、能動的な学びを創出するための「空間」「時間」「仲間」を有機的に機能させることができよう環境設定を行いました。



学習スペースは、人数や目的に合わせて自由に形を変えられることができるグルー

プ学習スペース、プレゼン演習スペースを設け、授業の事前・事後学習に個人でも活用できるようにタッチダウンス



ペースにはパソコンを設置しました。またフリースペースもコミュニケーションが弾むような明るい雰囲気になり、自由に学生生活のことについて相談できるカウンセリングスペースも設けました。

その機能を活かし、学生が自主的に学ぶ場としてだけでなく、ゼミナールやキャリアガイダンス、イベントなどでも広く活用しています。

先輩からのメッセージ —食物栄養コース 卒後研修会開催—

8月3日に生活未来科食物栄養コース（栄養士養成課程）の卒後研修会“夏の集い”を開催しました。第1部はレストラン鹿野園で懇親会、第2部は学生ホールで在學生・卒業生の交流会、第3部は矢和多多姫子教授による公開講座「日本の食を見直そう」を受講しました。

第2部では、病院、高齢者施設、障がい者施設などで管理栄養士・栄養士として働く卒業生が在學生に向けて栄養士の仕事、仕事の魅力について話をしてくださいました。仕事をする上で大切なことはなんですかという問いには、人間関係、人間関係を築くためのコミュニケーションが大切だと強く語られました。他の職種の方と連絡、報告、相談をまめにすることで仕事が円滑に進むこと、自分から情報を発信することを心がけていると自然に周囲も情報を提供してくれるような関係が作れること、利用者さんだけでなくそのご家族など幅広い年齢層の方との関わりが出てくることなど具体的に事例を挙げながら話してくださいました。学生時代に取り組んでおくべきこととはという問いには、

学生時代のことを振り返り反省も交えながら在学中から様々な行事に参加して他学科の人とも交流しコミュニケーションをとって下さい、アンテナを



はって情報には敏感になって欲しい、学外実習では常に「なぜ?」という疑問を持ちながら取り組み、現場での実際の仕事、その仕事の意味を理解して欲しい、就職後も毎日が勉強なので今から勉強する習慣をつけておいてくださいと在學生に伝えられました。短い時間でしたが、これから学外実習や就職活動を控えた学生は熱心に聞き入っていました。

栄養士養成課程1期生から直近の卒業生まで集まったの研修会、食物栄養コースの繋がりが更に深まった一日になりました。

公開コンペに出場

7月23日、2013年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」本審査が奈良県議会棟の本会議場で行われ、ビジネスキャリアコース1回生が出場しました。

この催しは、奈良県が県内大学の学生から諸課題の政策提案を募り、公開コンペ方式で選考し、優秀な提案には事業化するもので、本学は「眺望のいいレストランを活用したクリエイティブ・ツーリズム」プランのプレゼンテーションに臨みました。キャンパス内にある「奈良県から認定された」レストラン鹿野園をベースにして、そこで①大和野菜の料理教室 ②大和野菜のメニュー開発 ③クリエイティブ・プロモーションをキーアクションにして、奈良県の観光入込客数を増加させるプランを提案しました。

惜しくも入賞は逃しましたが、学生にとっては次につながる大きな糧となりました。

参加した学生からは、初めは先生の提案でなんとなく考え始めたプランでしたが、書類選考を通過し皆で分担してコンペの準備を進めていく中でプランが自分たちでも具体的に見えてきて形になっていくのが楽しかった、おもしろかった、いい経験ができた、会場でも笑いが起こった「さほーだつだつ」（オリジナルキャラクター）を是非実現させたいとの声が聞かれました。



自主上映会開催

6月24日、ビジネスキャリアコース2回生主催による映画「パワー・トゥ・ザ・ピープル」自主上映会「考えよう、みんなで創れるエネルギー」イベントを開催しました。

これは、「ビジネス実践演習」科目の学習成果として企画運営するもので担当の東海等先生ご指導のもと、企画・予算・交渉・広報・運営のすべてを学生の皆さんが進めたプロジェクトです。当日、とても強く降る雨の心配がありましたが、授業の合間の空き時間を使ってギリギリまで準備を進めたところ、強い雨も受付直前には止み、会場の「レストラン鹿野園」から生駒山まで見渡せる雨上がりの美しい景色が広がりました。

上映会は30人近いご参加をいただき、1時間ほどの上映の後、エネルギー、自家発電、コミュニティ、原子力発電、地域、景観に関する活発な意見がありました。この時間も普段は発言を求められる側の学生が司会進行を努めました。

仕事における機動力やスピードは「自分の身体の動き」と「人と直接的に接触する」ことにより身に付くことが体感出来たと思います。良い仕事は、自分の行動力により生み出されるのです。スタートからフィニッシュまで約1週間のプロジェクトでしたが、多くのご参加をいただいたことで、学生の皆さんにとっても緊張感があり達成感のある機会になりました。



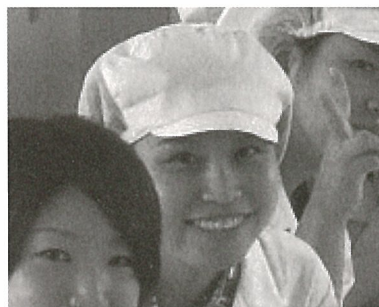
ベトナムからきました

生活未来科
食物栄養コース1回生

NGUYEN THU TRANG

私は、2012年にベトナムから日本に来て、北陸大学日本語別科（石川県金沢市）で1年間日本語や日本文化などを勉強し、4月に食物栄養コースに入学しました。日本に来る前は、日本といえば京都や東京でしたが、日本に来て最初に案内してもらった奈良の奈良町のような昔からの街並みや落ち着いた雰囲気がとても気に入りました。だから奈良にあり、料理や栄養の勉強ができるこの大学を選びました。

入学してすぐは勉強が難しく、覚えられない、ついていけないと諦めようと思つてきましたが、友人や先生方の協力や他の留学生が努力している姿に刺激をもらい頑張ってきました。ここは留学生が少ないので日本人とたくさん交流ができ、たくさん元気をもらっています。将来は、ここでの学びをいかし子どもの健康に関わる仕事をしたいと思っています。そして、日本にいる間にいろんな場所を訪れ、文化、生活、考え方などベトナムとの違いを知りベトナムで活かしたいと思っています。



キャンパスの風 新任教職員紹介

生活未来科
生活福祉コース 森永 夕美

この春より、奈良佐保短期大学にて勤務させていただいております。奈良の地は初めてですが、自然が豊かで落ち着いた環境の中で奈良らしさに触れながら日々学生と共に学ばせていただいています。私は高齢者福祉を専門とし、大学院では「介護予防」をテーマに研究しておりました。短大では「高齢者の心理」「認知症の理解」「コミュニケーションの基本」など担当させていただいています。高齢社会の現状の中で介護福祉士に求められるものは多くなっていく一方です。しかし、介護の仕事に対する理解はまだまだといえます。介護福祉士は、高齢者や障害者の皆様の身近にて、その方の生活がその人らしく生き活きたものになるよう、共に考え支援する仕事です。一人でも多くの介護福祉士がこの短期大学から巣立ち、地域の皆様の期待に沿えるよう努めていきたいと思つています。

2013 公開講座 夢の丘セミナー(後期分)

会場：奈良佐保短期大学

11/5 13:00~15:30
奈良時代の古文書を読む
 -正倉院展で公開中の文書から-
 教授 宮川 久美

11/13 13:00~15:30
色の見方、配色の仕方を考えましょう
 教授 中村 妙子

1/28 13:00~15:30
「語ってみませんか 昔話と創作話」
 —語ることでつながる 親子と子育て支援—
 教授 和田 公子

2/4 13:00~15:00
子育てに関わる心理学
 准教授 石田 裕子

2/8 10:30~12:30
子どもと一緒にやつを作ろう!!
 講師 島村 知歩



なら子育て大学 地域の子育て支援 大学ネットワーク会議

奈良県下の保育士養成課程のある帝塚山大学、奈良教育大学、奈良佐保短期大学、奈良文化女子短期大学、大阪樟蔭女子大学、畿央大学が連携した子育て支援の取組として「なら子育て大学」を開催します。本学では、左記の公開講座のほかにも楽しい体験型講座を開催します。

講座 開催日時	内容	対象
出張☆子育て支援 南部公民館 11/17(日) 10:00~12:00	子育てのヒントいっぱい「子育て講座」や、身体を動かす「ゆめわくわくリズム」で楽しく子育てを学びましょう。	0~4歳の子と親
こどもフェスタ 11/23(土・祝) 10:30~14:00	学生が音楽やスポーツ当の分野の専門性を活かして、リズム遊びや運動遊び、オペレッタ上映等、子どもに遊びを提供します。	小学校低学年までの子と親
ハンドベルコンサート 12/14(土) 10:00~12:00	美しいハンドベルの演奏でクリスマス気分を一足先に味わいましょう。	0~4歳の子と親

FAXまたはハガキに必要な事項(表面「申込方法」)を記入の上、「奈良佐保短期大学 公開講座事務局」までお申込みください。
 *定員の都合により、受講できない場合のみ連絡します。
 他大学での講座など、詳しくは奈良県ホームページをご覧ください。

レストラン鹿野園共催 特別講座

日本の食文化 おいしさと健康

今年度は、レストラン鹿野園と共催で試食つきの特別講座を6講座開催しました。日本料理の食材には欠かせない「昆布」や「鰹」そして「ゴマ」について、また料理研究家の杉本節子氏には「京のおばんざい」について、京料理(懶)たん熊北店主の栗栖正博氏には「京料理の奥義」についてお話いただきました。参加者からは話を聴くだけでなく、実際に料理を味わうことでより理解が深まる、実践できそうだとの声がかけられました。



奈良佐保短期大学 地域子ども学科セミナー 2013を開催(8/25)

一こどものころを育てる遊びをテーマに「まあせんせい」こと菊池政隆氏を講師に招いて講演会を開催しました。オープンキャンパスに参加した高校生、在学生、卒業生と一緒に現場で活躍のころ、技を学びました。講演会後は先生を交えての交流会を行いました。



第49回 奈良佐保短期大学 佐保祭(10月19日・20日)

みんなで起こそう 笑顔の連鎖

あいにくの雨でしたが学生全員が一丸となり、一生懸命に取り組みました。学生の気持ちのこもった手作りの佐保祭は感動的でした。



高校生 ICT Conference 2013 in 奈良を本学で開催(9/30)

奈良県内の高校生がグループに分かれて「高校生だからできる『情報モラル・情報リテラシー教育』」について熱い討論が繰り返され、高校生の視点で情報機器の使い方や人間性を養うためにどのような教育を取り入れるべきか屈託のない意見が述べられました。



オープンキャンパス 10:30から開催

11/23(土) 体感! ナラサホのキャンパスライフ

知る 学科・コース紹介
 入試説明会
 なんでも相談コーナー

学ぶ 大学ならではの基礎教養
 科目授業・学科体験授業
 でナラサホの授業を体験

食べる レストラン鹿野園での
 ランチ体験
 奈良市が一望できる解放感あふれる空間で先輩と一緒に学食をゆっくりとお召し上がりください。

感じる 在学生コーナー
 キャンパスツアー
 キャンパスライフ紹介



ホームページリニューアルしました

2013年5月よりホームページをリニューアルしました。入試やイベント情報はもちろん学長ブログや学生ブログでナラサホの今をキャッチしてください。奈良佐保短期大学受験生サイトには奈良の魅力が詰まった「ナラのお国自慢」や投稿ページ「奈良ナラあるある」など新しい企画もあります。是非ご覧ください。

見学・受験相談は随時受け付けております。
 お問い合わせ・資料請求
0742-61-9708・9709
 (入試・広報センター)
 e-mail info@narasaho-c.ac.jp

